

持続可能な社会づくりのための環境教育の推進

～環境教育「学校ビオトープの活用」によって育む学力と環境保全意識～

I 本研究会の概要

1964年に公害対策研究会として発足。その後、環境教育、E S Dと時代を反映した研究と教育普及を実践している。低炭素社会、生物多様性社会、資源循環型社会を目指すことは持続可能な社会づくりに繋がる。「持続可能な社会のづくり手の育成」として環境教育・E S Dを推進し、将来世代の育成を行っていく。

研究部による研究を要とし、授業モデルの構築をするとともに、自然観察会や工場見学会等を実施している。

II 主題設定の理由

これまで東京都小中学校環境教育研究会は、人類の行き過ぎた社会活動が引き起こした環境問題に警鐘を鳴らし、持続可能な社会への改善を試みる教材化を進め、授業実践を進めてきた。例えば、気候変動に関する授業、食品ロスやプラスチックの廃棄等の問題についての授業、生産者視点での環境保全に向けた授業等である。多くの授業実践を取り組む中で、私たちの実生活では、給食の残菜、コンビニや飲食店の食料廃棄、化学繊維を大量に利用した衣料品廃棄など、今なお様々な場面で環境への負荷をかける生活を続けている。

—今だからこそ「身近な環境保全」を考えさせたい—

「人間と自然との共存をどう実現するか」という、これまでの「環境保全」という枠組みを超えた新たな問いを私たちに突きつけている。具体的には、地域の利害関係、生態系の復元、生活圏と自然圏のバランス、そして人と動物との関係性の在り方を含む、統合的な視点が必要である。

このような背景を踏まえると、児童・生徒が身近な生活環境の課題に気付き、自ら考え、行動に繋げることのできる主体的な学びを促す教育的アプローチが求められている。身近な環境保全に関する学びは、抽象的な「環境問題」を具体的に・実感的に捉え直す契機となり、持続可能な社会形成に必要な市民性を育成するうえで重要な意義をもつ。

III 研究の方法

- (1) 役員定例会で理論構成
- (2) 本研究会で作成した「新しい環境教育」で示した児童・生徒の3つの能力・態度をもとに、研究部において授業開発、授業実践を行う。

地球温暖化の現状を知り、その対策がどのように行われているかを調べ、自らが生涯にわたる環境保全への継続的な意識を高めるためのモデル授業の構築を行う。

【意識調査・単元構築】

- (3) 身近な環境保全を考えるための教材・単元開発・授業の構築
- (4) 研究発表校、研究部員所属校、外部機関、企業と連携し研究実践を深める。

【実践】研究員の所属校で授業実践

- (5) 事前・事後アンケートを活用した変容を調査

Ⅳ 研究の過程

- (1) 学校現場でのE S Dの推進状況の確認
- (2) 昨年度の研究成果の検証
- (3) 「身近な環境保全」を考えるための教材、単元開発、授業構築、E S Dカレンダーの作成
- (4) 研究部員の学校における授業実践
- (5) 事前・事後アンケートによる効果検証

Ⅴ 授業実践例

- 1 小学校第5学年社会科「わたしたちの生活と食糧生産」
 - (1) 米づくりについて学習課題を作る。
 - (2) 米農家へのインタビュー内容から暑さ対策等、気候変動に伴う米づくりの課題への対応策について考える。
 - (3) 各自の取組と関連付けながら、探究をしていく。
 - (4) スマート農業の取組を取り上げ、米の消費量減少・農家の高齢化・地球温暖化を踏まえながら、今後の農業に求められる機械の機能について考える。
 - (5) 生成A Iを活用し、児童が考えた機能をもつロボットを生成A Iでイメージ図を作成する。



Ⅵ 成果と課題

【成果】食と環境に関する児童の内面的理解や関心を高める面で成果が見られた。

【課題】社会科・理科・家庭科・総合的な学習の時間などと有機的に関連付けながら計画的に学習機会を設けることで、児童が環境課題を生活と結び付けて捉え、学びを実践へつなげられる指導の工夫が求められる。

Ⅶ 本研究会のその他の活動

- (1)研修会等
- ・夏季研修会(東京都環境公社主催環境教育研修会) 7月24日
 - ・自然観察会 8月1日 御岳山
 - ・野鳥観察会 令和8年2月21日予定 井の頭動物園
 - ・東京都カーボンハーフスタイル推進教育フォーラム発表 11月

- (2)第61回東京都小中学校環境教育研究発表会
(第57回全国小中学校環境教育研究大会と共催)

日時 令和7年12月27日 13時

場所 エコギャラリー新宿

講演：モニタリングサイト1000調査結果から

見えてきた日本の自然の変化

～温暖化などの環境変化がもたらす生物多様性への影響～

講師：環境省自然環境局生物多様性センター

モニタリング技術支援専門官 平松 新一 様

＜令和7年度連絡先＞

団体名		東京都小中学校環境教育研究会	
代表者	所属	調布市立深大寺小学校	
	職 氏名	校長 箱崎 高之	
	連絡先	042-485-1265	
事務局	所属	世田谷区立玉堤小学校	
	職 氏名	校長 伊藤 修久	
	連絡先	03-3701-1536	
団体ホームページ	URL	https://kankyokyoiku.jp/tokyo/	二次元コード